

令和8年度

第二みのり園 施設訪問・巡回

期日：令和8年4月13日（月）10：00～10：45

参加者

地域連携推進員

利用者代表 濱崎剣心 様

利用者家族代表 富永大二郎 様（武富裕一様家族）

地域関係者代表 森山浩一 様（長崎市布巻町在住）

管理者 松尾淳一

担当 浜端孝祥

書記 松山由奈

○施設内の巡回

男子棟居室やホール、作業室、食堂、女子棟を見学

男子棟・ホール

- ・居室（個室の工夫）を見て回り、普段どのように生活しているのか、説明を行う
- ・居室の雰囲気づくりについて、職員に質問して頂く
- ・ホール内で洗濯物配りを行っている様子を見学する
- ・利用者に声を掛けて頂く
- ・利用者の好きなもの、日課などを質問しコミュニケーションを図る
- ・職員、介助員とのコミュニケーションを図る



《参加者の声、様子》

- ・自閉症の方には目で見てわかるスケジュール作りは良い考え
- ・実際に来て見てみないとわからない
- ・介助員さんは必要な存在→利用者の小さい頃を知っている方が今も近くに居てくれることは安心

- ・言葉でのコミュニケーションが難しい方にはジェスチャー等でコミュニケーション
- ・トイレが広い
- ・職員の仕事量が大変
- ・生活しているところに今まで入ったことがない
- ・ホールでフリーに自由に過ごしている様子が良い（無理に何かをさせない）

作業室

- ・ワークの種類を一つ一つ見てもらっており、好きなこと、特技の説明を行う
- ・利用者との触れ合いや、声を掛けて頂く



《参加者の声》

- ・利用者のワーク道具を職員が手作りしているのがすごい
- ・利用者に合わせた内容を考えている
- ・手作りの道具も頑丈ですごい

女子棟

- ・ボウリングのレクを行っており、見学する
- ・レクに参加している利用者に声を掛けて頂く



《参加者の声》

- ・みんな楽しそうに活動に参加している
- ・笑顔が素敵

食堂

- ・食堂での配膳の様子を見学する
- ・食事の形態や工夫して作られた椅子など見て頂く
- ・食事委員会の説明を行う



《参加者の声》

- ・食事形態が多く、介助が大変そう。椅子の工夫が良い

※施設巡回を通し、推進員と利用者職員との距離が近くなり、同じ目線で話げできた